



清算事業団地労委闘争

いよいよ証人審問

一月二三日、JR不採用―清算事業団事件の労働委員会第七回調査がおこなわれた。

JR当局側は、この間①国鉄とJRには同一性がないからJR側に一切の責任はない。②申し立てそのものが除籍期間の一年を過ぎてしまっており無効、なるデタラメな「白を黒と言いくるめるに等しい理論」(北海道地労委の勝利命令を論評した北海道新聞社説の表現)によって、いたずらな引きのばしをはかってきた。すでに申し立てから十カ月がたっているにもかかわらず、この卑劣な妨害によって今だ審問(裁判の証人尋問にあたるもの)が開始されていないのである。

清算事業団地労委

次回は、
2月28日

すでに、大阪、神奈川、北海道の三地労委でほぼ全面的な勝利命令が出さ

職場生産点の闘い こそ展望を拓く

1/28 木更津支部大会

木更津支部第十一回定期大会は、本部中野委員長を来賓として迎え、天皇Xデー下の労働運動が真に闘う方向性を指向するの、全労連に見られるごとく産報化の道をたどるのか内外の注目を集める中、「自粛ムード」を打ち破り熱気あふれる討論を含め、現在全支部的に貫徹されている安全

木更津支部第十一回定期大会は、本部中野委員長を来賓として迎え、天皇Xデー下の労働運動が真に闘う方向性を指向するの、全労連に見られるごとく産報化の道をたどるのか内外の注目を集める中、「自粛ムード」を打ち破り熱気あふれる討論を含め、現在全支部的に貫徹されている安全

の一年間の木更津支部における職場抵抗闘争の切り拓いた地平が、動労千葉全体としても『六二・四・一分割・民営化』体制確立へ全力で決起していくことを組合員一強制配転者三二名の圧倒的集結を勝ちとり大成功をおさめた。

「八九・三ダイ改」阻止―運輸保安確立―全組合員ストライキへ向け、総力を挙げ闘い抜き、JR体制打倒へ向け、まなじりを決して立ち上がるうではないか。

れ、JR側の主張は斥けられているのである。にもかかわらず、JR当局側は、この日も全く同じことの繰り返しでしかない準備書面を提出し、(自ら「新しい論点は特になし」と公言してはばからない)妨害のための妨害を策した。

しかし、審問の開始を強く要求する動労千葉弁護団の主張は、JR当局をおいつめ、地労委当局も「法律論だけではつきりする問題ではないと判断し、審問に入ることに

したい」と、次回より審問を開始することを決定したのである。(次回は、二月二十八日、中野証人) JR側は、審問開始が通告された後も、あわてふためいてみつももない「最後のアガキ」をくり返し、「証人を採用するならば、除籍期間の問題だけに限って、清算事業団の当該者だけにしろ、それ以外のことをやるならこれ以上、地労委に参加するつもりはない」等々とわめきちらしたが、これらの「言いばかり」

地労委への恫喝?が採用されなかったことは言うまでもない。次回、第一回審問に全力で結集しよう。十二名の仲間を奪い返すために全力で、二・一五総決起集会に結集しよう。

**自りと乗客の
生命を守るために**

スト体制確立を

2・15総決起集会
清算事業団闘争勝利!
反合・運輸保安確立!
「89・三ダイ改」阻止!